

**優良** (株)中庭測量コンサルタント・

## 既存の技術を生かしつつ未来創造企業として進む



中庭基雄社長

長い間、渋谷区恵比寿に本社を構えていた中庭測量コンサルタントの現在の本社ビルは、大田区大森の第1京浜に面し、新幹線品川駅・羽田空港まで近い交通至便の地に移転した。将来を見据え、近代的なビルを取得し、面積もかなり広くしたそうである。移転して4年になるが、デジタル化時代に対応したビルに替わり、セキュリティ完全完備、いい環境の中で仕事ができると社員の評判も上々だそうだ。

同社は、昭和30年に測量のエキスパート企業としてスタートし、その後まちづくりや区画整理のパイオニアとして展開、総合建設コンサルタント企業へと着実に歩を進めている。このたび、当協会の「品質管理優秀賞」受賞の1カ月あと、国土地理院から「優良業務」の表彰も受けている。しかもこれは2年連続という快挙。120名の技術者部隊を全国に展開する新社長は、外資系金融機関出身の青年実業家。「顧客第一主義で品質No.1カンパニーを目指す」と舵

を取る一方、業界の先行きが不透明な状況に「若手社員に自由な発想を求め、新しい価値の創造が大切だ」と語る。混沌とした時代において「測量の第3分野への取り組みが必要不可欠であり、智慧を出せば無限大の宝の山がある」と固定観念を打破した多角経営を考え、ISO取得やPマークへの取り組みをはじめ、近代的な経営を目指している。インタビューに同席された渡邊淳取締役は、今後は更に民間からの需要を取り込んでいく方向で、「ビル管理や遺跡・文化財にレーザーの使いこなしができないかを考えています」と語られた。ビルのメンテナンスや構造物の耐震メンテナンスなど、新機軸の機器をとりそろえて次をにらんだ柱を懸命に模索しているとのことであった。今回の品質管理優秀賞も先進のバリューを求めた結果の受賞といえるのかもしれない。

(取材：浦郷)

